

### 活動実績

#### <ふれあい部会>

##### 宅配型配食サービス

宅配型配食サービスが4月2日より65歳以上の一定条件を満たした申し込み者を対象に月4回毎週水曜日お弁当の配達を行っております。

##### ふれあい食事会

ふれあい型食事会が65歳以上の一定条件を満たした方で申し込み者を対象に、自己負担金200円で9月14日に実施され、毎月第2日曜日(1月は除く)に実施する運びとなりました。



第1回目は、シルバーリハビリ体操を行って体を動かした後、お話をしながらみんなで楽しく食事をいただきました。



第2回目は折り紙を行い、とってもかわいい犬の折り紙を作りました。

#### <支え合い部会>



75歳以上の1人暮らしの独居者で一定条件を満たした人を対象に、見守り活動が開始されました。

今後は、定期的な訪問を行い見守り活動を行ってまいります。又、災害時の安否確認のためのマップ作りも開始されました。



第3回目は輪投げを行い、2つのチームに分かれて得点を競い合いました。



##### ふれあい敬老会



75歳以上の申し込み者を対象に9月28日に実施され、照沼小学校の生徒による合唱、フラダンスショー、みなづき会によるコスプレカラオケ大会、マジックショー、東海花舞によるよさこいソーラン音頭等を鑑賞した後、みんなで食事をいただき、楽しいひと時を過ごせました。

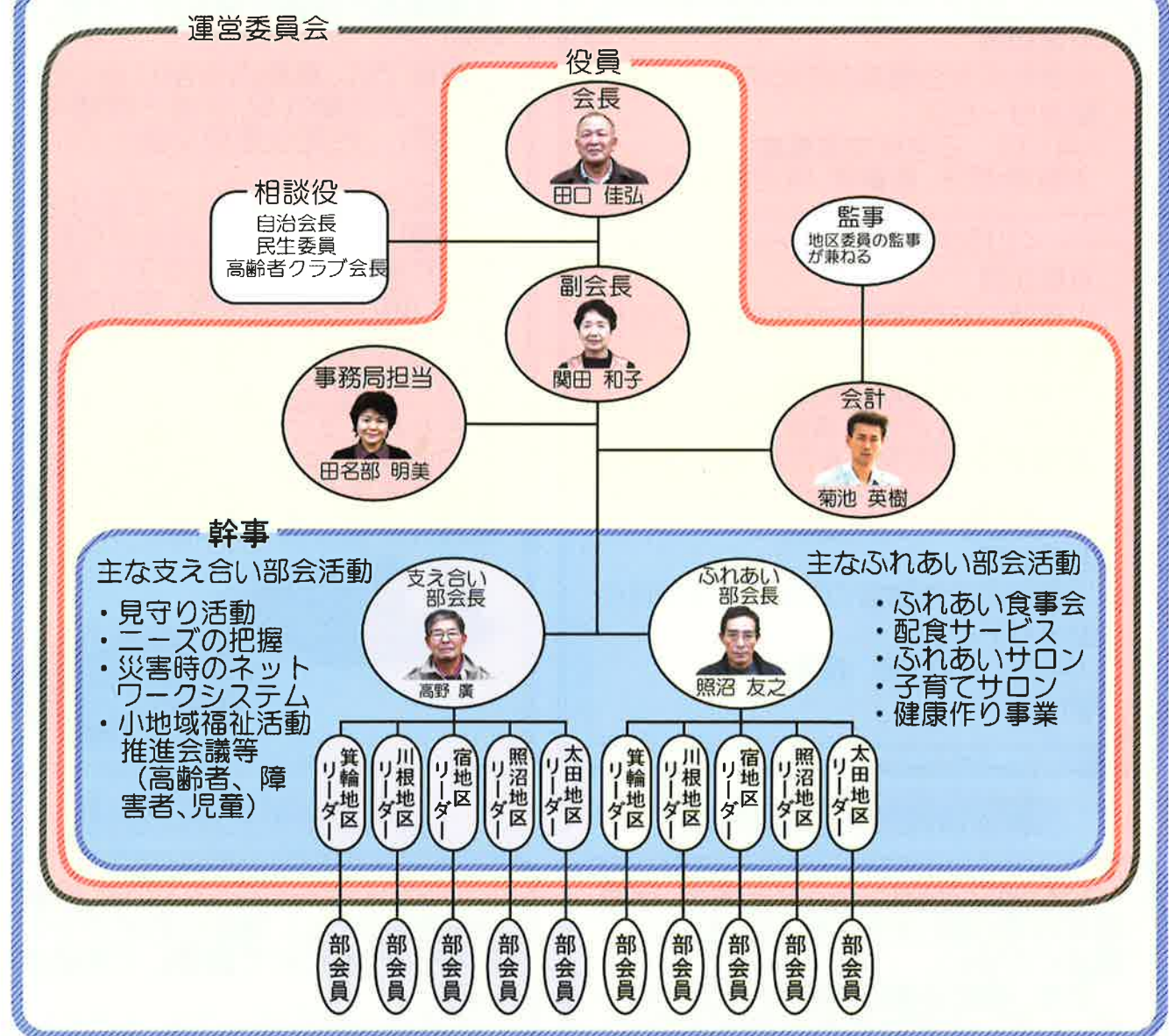


### 地区社協とは

さて、皆様は「地区社協って何?」「聞いたことがない」という方も多いのではないかと思います。

そこで、地区社協とは何かについてお話したいと思います。

#### <組織体系>



国による政策により、各市町村は自ら決定し、その責任も含めて主体的に行政を進めていくことを求められています。

そこで、東海村では、住民参加の街づくりを目指して区制度を廃止して、自治会制度を新たに導入しました。

自治会制度は、行政と住民が同じレベルで街づくりを考え、意見を述べ合うことの出来る組織で、地域の中で交流を深め合い、温かさやすらぎに満ち、安心して暮らすことの出来る平和な地域社会づくりを目指す共同の営みです。

一人一人の人権を尊重し、心の通い合う地域社会を作るため、住民の共通の課題に取り組み、みんなの力で一つ一つ解決していく活動が自治会活動であり、地区毎の自治会及び委員会の集まりが地区運営委員会で、私達地区社協もこの一員です。

これまでの福祉活動は村行政で行ってきましたが、地域の福祉活動は村行政と共に各地区でも行うこととなり、私達地区社協が福祉コミュニティの中心的な役割を担う事になりました。





今後の活動計画



<1月>

- 友愛訪問
- 災害時の安否確認のためのマップ作り
- 配食サービス
- 1月18日 三世代交流事業  
対象者:親子、高齢者、照沼学区居住者

<2月>

- 友愛訪問
- 災害時の安否確認のためのマップ作り
- 配食サービス
- 2月8日 ふれあい食事会
- 2月15日 住民啓発講演会  
演題:食品添加物と食の安全について

<3月>

- 友愛訪問
- 災害時の安否確認のためのマップ作り
- 配食サービス
- 3月8日 ふれあい食事会
- 総会

地区社協からのお知らせ

村松地区社協について御意見、御要望等がありましたら、是非遠慮なくご相談ください。

また、福祉活動に興味があり、お手伝いしていただける方がおられましたら、ぜひご連絡ください。

連絡先は、事務局(村松コミセン)田名部まで連絡(電話:282-9944)下さい。

村松地区が子供からお年寄りまで住みよい地域となりますよう、頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

編集後記

寒さが厳しくなり、空気が乾燥してインフルエンザの流行が始まっております。インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、加湿器などを使い、部屋の加湿を適度に保つことが有効な予防方法です。また、外から帰った場合は手洗い(手首まで洗うのが重要)、うがいを十分に行いましょう。手洗いは接触による感染を、うがいはのどの乾きを防ぎます。インフルエンザにかかってからでは遅いので、皆様もインフルエンザ予防に努めましょう。

編集:関田, 赤津, 菊池

その他

<ふれあい協力員研修>

地区社協関係者を対象に、地区社協の先進地である高萩市社会福祉協議会の視察研修を行ってまいりました。

研修では、高萩市支部社協の現在までの活動状況、今後の課題等を視察し、活発な意見交換を行いました。

高萩市は、常会単位で支部社協を設置しています。自治会が存在しないため、各支部社協が主に子供会から街灯の維持管理、福祉活動等を実施しています。その為、各支部社協が少ない予算でいかに事業を行うか、自主財源をいかに確保するかを考えており、見習うべき事が沢山あり、今後の村松地区社協を運営する上で大変勉強になり、有意義な研修となりました。



シンボルマークについて

シンボルマークについては、役員から募集を行い、集められたモノの中から、代表者にて厳選して決めました。

このシンボルマークは、人の心・真心を合わすハートマークと、人と人とが助け合う手を掛け合わせたマークであり、地区社協の理念にかなっていることからこのマークに決定しました。



ハートと手の掛け合わせ

手を取り合っ  
て支え合う姿



村松地区社協たより

創刊号

発行元 村松地区社会福祉協議会  
発行元住所  
〒319-1112 那珂郡東海村村松3370  
村松コミュニティセンター内  
TEL 029(282)9944



皆様、はじめまして村松地区社会福祉協議会(略 村松地区社協)です。

新年のお喜びを申し上げます。

これから村松地区の高齢者等の福祉関係の活動の一旦を私達村松地区社協が担うことになりました。よろしくお願いいたします。

私たち村松地区社協は平成19年9月2日に設立し、田口会長を筆頭に、事業計画を立てて活動してまいりました。

この程、事業の方も軌道に乗ってまいりましたので、ご報告方々、村松地区社協たよりを発行させて頂きました。

<会長挨拶>

村松地区社会福祉協議会 会長 田口 佳弘



皆様、はじめまして、村松地区社会福祉協議会会長を務めることになりました田口と申します。よろしくお願いいたします。

村松地区社会福祉協議会の組織化に当たりましては、多くの皆様のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、地域を取り巻く環境は少子・高齢化や核家族化が進み、地域住民による支え合い活動が重要になってまいりました。

平成20年度は「支え合い部会」と「ふれあい部会」が中心となり、新たに「ふれあい型食事サービス事業」が9月より、「友愛訪問」が10月より開始されました。

これからも、地区の皆様方のご理解とご協力をいただきながら、一人一人が住み慣れた街で幸せな生活を送れるよう、福祉活動を更に進めてまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



<部会長挨拶>

<支え合い部会長>

村松地区社会福祉協議会

支え合い部会長 高野 廣



私達支え合い部会では、今年度より見守りネットワーク事業がスタート致しました。

75歳以上で一人暮らしの方、又は、家族と同居しているが日中は一人で居る方を対象に、見守り活動(声かけ訪問)を開始致しました。高齢者の心配事や悩み等をいち早くキャッチし、問題解決のための手助けが行えるよう活動してまいりたいと思います。

年々高齢者が増加傾向にある中、高齢者が安心して生き生きと暮らせる地域を目指して頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

<ふれあい部会長>

村松地区社会福祉協議会

ふれあい部会長 照沼 友之



私達ふれあい部会では、「65歳以上で一人暮らしで外出が困難な方」あるいは「高齢者のみの世帯で身体が虚弱な方」、又は、「外出が困難で身体障害手帳をお持ちの一人暮らしの方」を対象に、宅配型配食サービスを、「65歳以上で一人暮らしの方」、「高齢者のみの世帯の方」、又は、「日中は一人で居る方」を対象にふれあい型食事サービスを開始致しました。

高齢者や障害をお持ちの方の引きこもり防止や、介護予防の手助けとなり、毎日楽しく暮らせますよう頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。